

土 屋 総二郎

土屋総二郎氏は、1975年に(株)デンソーに入社後、生産技術本部の技術者として精密加工技術の開発や新しい生産システムの開発に従事し、2003年からは生産技術総括担当として、生産推進センター長、専務取締役、副社長を歴任しながら、素形材加工機の大きさの1/N化やコンパクト・シンプル・スリムな生産システム構築を推進し、自動車部品業界の競争力向上に大きく貢献してきた。また、世界の競争に勝ち抜くには価格、品質、スピードなどの市場要求に対してIT活用が重要であることを提唱し、IoTの先駆けとなる取り組みを進めた。

さらに「世界一競争力のある製品をつくるためには、世界一の技術と技能がなくてはならない」という企業理念の下、国際職業訓練競技大会（技能オリンピック）の開催や技能人材育成に大きく貢献してきた。

1998年には「市場の不確実性に順応する生産システム（APS）の開発」により精密工学会技術賞を受賞している。

このように、同氏はものづくり技術の創成のみならず、技術・技能の継承に大きく尽力している。よって、同氏の生産加工分野、自動車産業界における工学的、工業的、教育的功績は極めて大きい。



略 歴

- 1975年 名古屋大学大学院修士課程修了
 - 1975年 日本電装株式会社（現(株)デンソー）入社
 - 2001年 工学博士
 - 2001年 同社ボデー機器事業部長
 - 2002年 同社取締役
 - 2004年 同社常務役員
 - 2007年 同社専務取締役
 - 2011年 同社取締役副社長
 - 2013年 同社顧問
- 精密工学会フェロー（2008年度）